

会 議 録		令和 3 年11月25日作成	令和 7 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府川端警察署協議会（令和 3 年度第 1 回）		
開催日	令和 3 年11月12日（金曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時までの間（60分）		
場 所	京都府川端警察署道場		
出席者	繁田会長、鈴鹿副会長、澤邊委員、今江委員、今村委員、上田委員、古川委員 <span style="float: right;">計 7 人</span>		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 <span style="float: right;">計10人</span>		
諮 問 事 項	令和 3 年 9 月末の管内の犯罪及び交通事故発生状況について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 出席者自己紹介		
	(1) 委員		
	(2) 警察署幹部		
	4 協議	司会	会長
	諮問事項説明		
	令和 3 年 9 月末の管内の犯罪及び交通事故発生状況について～生活安全課長、交通課長		
	【委員】 令和元年と比較して、犯罪認知件数も交通事故発生件数も大幅に減少しているが、やはりコロナの影響なのか。		
	【警察】 当署に限らず、京都府警全体で減少傾向にある。コロナ禍で人流が抑制されたことが大きな要因と思われる。		
	【委員】 犯罪が減少しているが、その中でも自転車盗の割合が高いと思われる。また、連日ニュース等で特殊詐欺の話題が上がるが、その点はいかが。		
	【警察】 当署管内の面積のうち、京都大学関連施設が占める割合が高く、自転車盗の約 5 割近くが京都大学関連施設敷地内で発生している。従		

会 議  
内 容

って被害者も大学生の比率が高い。

街頭犯罪が大幅に減少している中、特殊詐欺に関してはやや減少しているものの高止まり傾向である。

【委員】川端警察署として、特殊詐欺被害防止に取り組んでいる対策はあるのか。

【警察】高齢者が被害者となる特殊詐欺は、高齢者宅の固定電話によるものがほとんどであることから、高齢者に対し、防犯機能付き電話機の設置を呼び掛けている。

その一環として、家電小売店と防犯協会の協力の下、新規に防犯機能付き電話機を購入する際に、一部代金を助成する取組を始めたところである。

さらに、当署生活安全課が「特殊詐欺被害防止」に特化した防犯ハンドブックを作成し、左京区役所や老人福祉委員等に協力していただき、高齢者宅への配布を進めている。

【委員】先日、南禅寺付近で高齢女性が転倒する場面に遭遇した。すぐに声を掛けると、高齢女性は「ここはどこ」と認知症特有の状態を示した。幸い直近に交番があり、高齢女性を保護していただいた。

特殊詐欺などの高齢者の犯罪被害はニュース等で知っているが、今回、私が遭遇した女性のように、警察が高齢者を取り扱う事案が多いのではないか。

【警察】今年に入り約80人を保護しているが、そのうちの約半数が高齢者である。徘徊して自力で帰宅できない認知症高齢者が多い。その他には迷子、泥酔者などの保護を取り扱っている。

保護された方の発見は、約9割が通行人であり、今後も高齢者の保護は増加していくものと思われる。

【委員】我々、市民として、できることはないか。

【警察】路上に座り込んでいる、同じ場所に長時間いる方等を見掛けられたら、声掛けをしていただき、認知症の様な症状があれば、警察に通報の上、怪我をされている場合は救急車を呼んでいただきたい。

交番勤務員は、過去に保護を要した地域の高齢者を把握している場合があり、また、過去の保護歴や家族からの行方不明届から、多くの方を家族に引き渡すことができる。

これから寒い季節となり、屋外に長時間いると生命の危険があるので、発見時はまず声掛けをしていただきたい。

【委員】今回は、久しぶりの協議会であり、また、コロナ禍ということで短時間の会議となった。今後、日頃疑問に感じていること、警察に望むことなど積極的な提言をお願いしたい。

会議 内容	次回、第2回警察署協議会は、来年2月中に開催する予定である。 コロナ情勢を踏まえて事務局と調整の上、連絡する。 <p style="text-align: right;">以 上</p>
----------	---

## 第1回 京都府川端警察署協議会の開催状況

